

1月給食だより



令和8年1月8日
都立久我山青光学園
校長 宮田 守

新しい年を迎えました。給食室では安心・安全で楽しみにしてもらえる給食を作ることができるよう、栄養士、調理員で力を合わせて頑張ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



1月の献立より

・卒業生のリクエスト給食が始まります！

1月から3月にかけて、卒業生のリクエストメニューを取り入れていきます。

視覚部門幼稚部くじら組、小学部6年生、中学部3年生、知的部門小学部6年生、中学部3年生が給食で食べたいメニューを考えてくれました。当日を楽しみにしててくださいね。

・1月24日から30日は全国学校給食週間です！

日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、貧しい家庭の子供に昼食を出したのが始まりとされています。その後全国に広まりましたが、戦時中は中断されました。そして戦後、昭和21年12月24日から、東京・神奈川・千葉で全児童を対象に学校給食が再開されたのです。文部科学省では、これを記念し、学校給食の意義や役割についての関心をさらに高め、理解してもらうため、冬休みと重ならないように一か月遅らせた1月24日からの一週間を「全国学校給食週間」と定めています。この期間は、久我山青光学園の給食でも、歴史をたどった献立を提供します。



☆12月の給食を紹介します☆ HPではカラーで御覧いただけます

・17日(水)

久我山青光学園の屋上で栽培された大根を使用した「みぞれ汁」を提供しました。前日に視覚部門と知的部門の中学部の生徒たちが収穫し、15kg以上の大根を給食室に届けてくれました。大きな鍋でじっくりと煮たことで、大根の辛みが抑えられ「久我山産の大根おいしい！」の声をたくさん聞くことができました！



・24日(水)

冬休み前、2学期最後の給食はお楽しみメニューでした！八丈島特産の明日葉パウダーが練りこまれた「あしたばパン」や、スパイス香る「フライドチキン」は子どもたちからも大人気でした。給食時にはサンタさんも登場しました！